会員だより

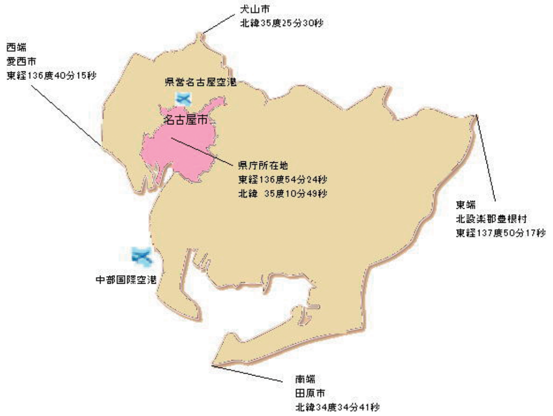
# 「愛知県の災害について」

愛知県建設部砂防課
企画･防災グループ 技師
太田浩一郎

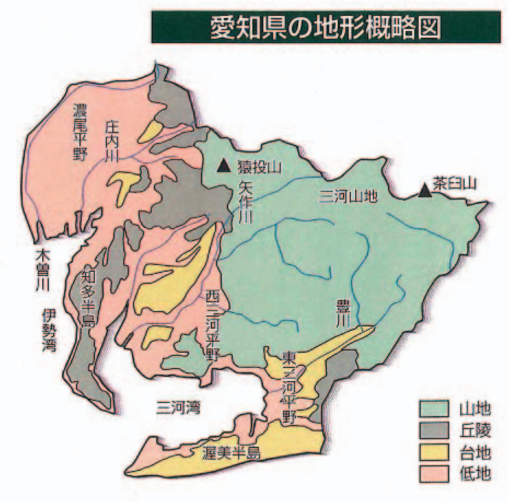
## 愛知県の概要について

愛知県は日本のほぼ中央に位置しており、南は太平洋に面しており、西は三重県、北は岐阜県、北東は長野県、東は静岡県と接しています。県北東部には長野県との境にある茶臼山（標高1,415m）を頂点とする三河高原や、標高500m前後の山地が広がっています。北西部から南部にかけては、木曽川・庄内川により濃尾平野が、矢作川により西三河平野が、豊川により東三河平野がそれぞれ形成されています。また、東三河平野からは渥美半島が、濃尾平野の東部にある丘陵地帯からは知多半島がそれぞれ飛び出しており、これらによって形成される愛知県の海岸線は594kmに及び沿岸一帯は水産資源に富んでいます。

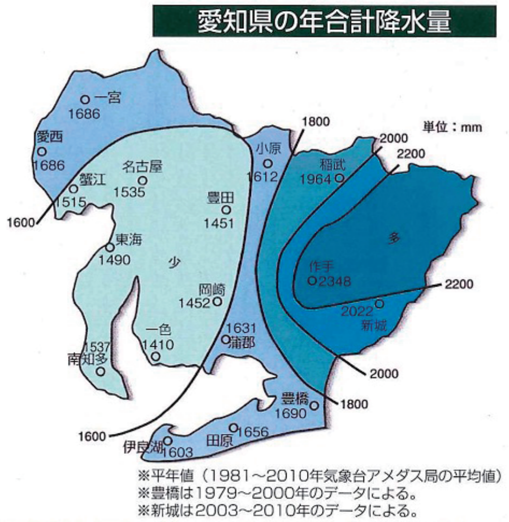
愛知県の気候は年間を通して温和で、降雨は夏に多く、冬に少なくなっています。渥美半島や知多半島の南部は黒潮の影響もあり温暖な気候となっていますが、北東部の三河山間地では冬の冷え込みが厳しくなっています。また、北西部では、日本海までの距離が120～160kmとなっており、冬季には季節風によって降雪が見られることがあります。愛知県に災害をもたらす異常気象は、主に台風や梅雨前線･秋雨前線による豪雨となります。




愛知県図




地形概略図




年間降水量

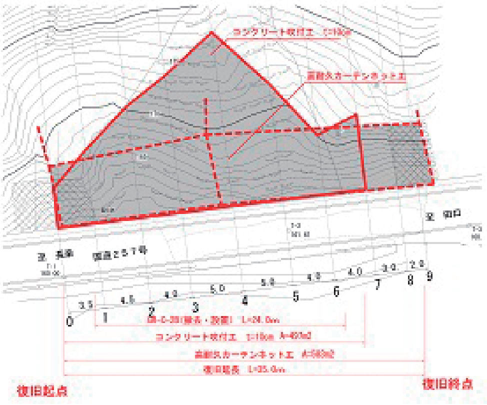
## 会員だより

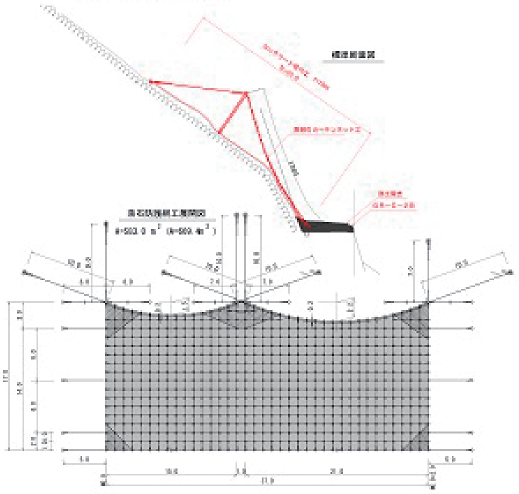
道路災害:25年災第524号
(国)257号線（新城市愛郷地内）

道路災害:25年災第524号
(国)257号線（新城市愛郷地内）

（工事概要）
復旧延長 L=35.0m
幅員 W=5.0m
コンクリート吹付工 A=497m2
高耐久型落石防護網工 A=583m2
防護柵工 L=24m

（決定工事費）
C=27,219 千円

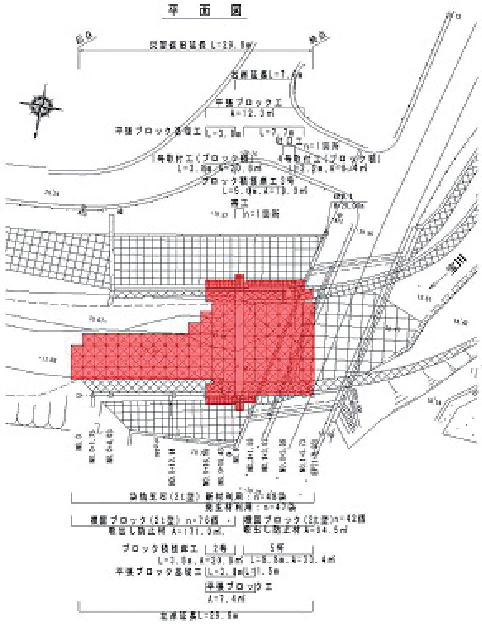


国道257号線

## 会員だより

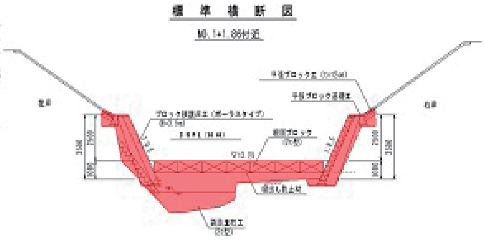
**砂防災害:25年災第306号**
**豊川支川　宝川（豊川市松原町地内）**




（工事概要）
復旧延長 L=29.8(27.8)m
（右岸）L= 7.6m
（左岸）L=29.8(27.8)m

ブロック積工 A=102m2
帯工　N=1基
根固めブロック工　L=118(95)個

（決定工事費）
C=25,027 千円

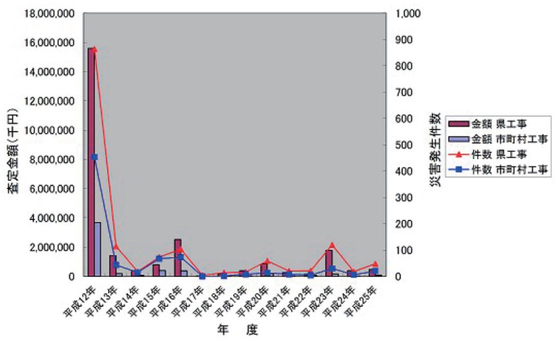



**砂防災害:25年災第306号**
**豊川支川　宝川（豊川市松原町地内）**

宝川

# 会員だより

近年の災害発生件数と査定金額（平成12年～平成25年）




工種別内訳（国庫負担対象額ベース）

| 工種 | 区分 | 申請 | | 決定 | | 採択率 | 全体額に対する割合(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 箇所 | 金額(千円) | 箇所 | 金額(千円) | % | |
| 河川 | 県 | 20 | 262,641 | 20 | 244,398 | 93.1 | 44.5 |
| | 市町村 | 8 | 50,875 | 8 | 49,162 | 96.6 | 9.0 |
| | 計 | 28 | 313,516 | 28 | 293,560 | 93.6 | 53.5 |
| 砂防 | 県 | 6 | 80,403 | 6 | 74,884 | 93.1 | 13.6 |
| | 市町村 | — | — | — | — | — | — |
| | 計 | 6 | 80,403 | 6 | 74,884 | 93.1 | 13.6 |
| 道路 | 県 | 22 | 164,264 | 22 | 151,862 | 92.4 | 27.7 |
| | 市町村 | 12 | 28,981 | 12 | 28,406 | 98.0 | 5.2 |
| | 計 | 34 | 193,245 | 34 | 180,268 | 93.3 | 32.9 |
| 計 | 県 | 48 | 507,308 | 48 | 471,144 | 92.9 | 85.9 |
| | 市町村 | 20 | 79,856 | 20 | 77,568 | 97.1 | 14.1 |
| | 計 | 68 | 587,164 | 68 | 548,712 | 93.5 | 100.0 |

気象別内訳（金額は査定決定額（国庫負担対象額ベース））

| 異常気象 | 発生年月日 | 県工事 | | 市町村工事 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 件数 | 金額(千円) | 件数 | 金額(千円) | 件数 | 金額 |
| 豪雨 | 3/18 | 1 | 6,963 | 0 | 0 | 1 | 6,963 |
| 豪雨 | 7/26 | 1 | 3,557 | 0 | 0 | 1 | 3,557 |
| 豪雨 | 8/5～6 | 3 | 41,597 | 1 | 24,524 | 4 | 66,121 |
| 豪雨 | 9/4～5 | 3 | 31,839 | 0 | 0 | 3 | 31,839 |
| 台風18号 | 9/15～16 | 39 | 384,291 | 19 | 53,044 | 58 | 437,335 |
| 台風26号 | 10/15～16 | 1 | 2,897 | 0 | 0 | 1 | 2,897 |
| 計 | | 48 | 471,144 | 20 | 77,568 | 68 | 548,712 |

※市町村工事は名古屋市を除く（以下すべて同様）

## 愛知県の災害担当

愛知県の災害担当の紹介をしたいと思います。愛知県の災害担当は砂防課の一部の職員で構成されており、３人体制で内訳は、主任主査（技術）、主査（事務）、技師（私）となっています。災害の多い他の県から見ると非常に心もとない人数に思えるかもしれませんが、幸いにも愛知県は災害の少ない県となっており、東海豪雨以降は大災害と呼べるような災害が無いことや、他担当の頼もしい応援もあり何とかやりくりできています。主任主査は災害担当の取りまとめ役で、長年培ってきた豊富知識も有り、関係機関への説明や本省への変更協議､技術的な観点に係る判断の的確さ等、リーダーとして非常に頼れる存在で、日々勉強させてもらっています。主査は災害に関する事務方の職務を一手に引き受けていて無くてはならない存在です。以前は事務方の担当も居たようなのですが、前述の通り災害の少なさから、人員の効果的な配置のため現在の形となったようです。私は主任主査の補佐的な役割で、主に建設事務所との調整を行っており、他にも一部別担当の仕事も行っています。

## 平成25年災害の概要

愛知県の平成25年災害は、３月18日の豪雨を始め10月15日から16日にかけての台風26号までの計６回でした。査定の回数は例年より少し多めでしたが、災害の件数は例年並みとなりました。数字の傾向としては、第５次査定に全体の８割が集中して発生しており、そのほかは１～３件の散発的な発災となっています。

５次査定は台風18号によるもので、県39件、市町村19件の計58件の申請となり、愛知県の25年災害では唯一本省から査定官を派遣していただき、２班体制で５日間の災害査定となりました。愛知県では年に１度あるかないかの規模でしたが、財務局へ事前説明に行った際に隣県の状況をそれとなく伺ったところ、桁の違う数字を示唆され、改めて愛知県の災害の少なさを実感しました。多忙な中査定に来ていただいた査定官、立会官、及び円滑な災害査定の進行のため尽力していただいた県ならびに市町村職員の皆様へ、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

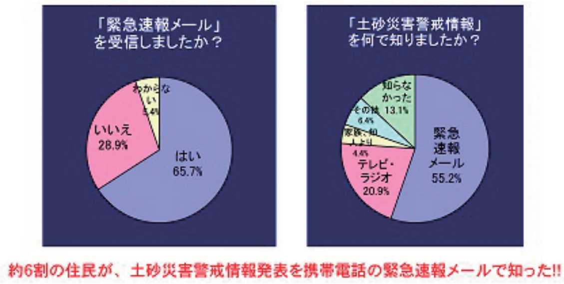
## 愛知県の防災に関する取組の紹介

愛知県では、平成26年９月９日より、県内すべての土砂災害警戒情報対象市町村へ土砂災害警戒情報が発表された際に自動的に緊急速報メールの配信を行うサービスを開始しました。本サービスは土砂災害警戒情報の発表に連動して対象市町村に存在する携帯電話等（緊急速報メール機能対応機種に限ります）へメールで情報を伝達するもの

会員だより

で、事前の登録が必要無く、観光や仕事等で偶然その場にいた方へも情報の伝達ができることが特徴です。全対象市町村への配信を開始する前に試行期間として三河山間部市町村を対象として平成24年９月14日からサービスを行っており、実際に配信された際（平成25年９月４日の大雨、16日の台風18号）のアンケートを採ったところ、約６割の方が緊急速報メールで土砂災害警戒情報の発表を知ったことが分かりました。

緊急速報メール



アンケート結果